

本町防災ひろばの会

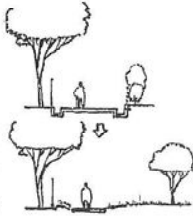
本町防災ひろばの会では、3月19日に、防災ひろばの本格利用について、豊島区長に提案を行いました。

防災ひろば本格利用を区長提案

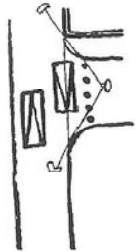
案の訂正箇所

会では2月2日と6日に行った本格利用についての懇談会で出された意見(右頁参照)をふまえ、案の訂正を行いました。訂正したのは次の箇所です。

①池二小側の園路……多くの人が通り抜けに利用するのにに対して園路が狭く暗い印象だという意見がありました。そこで会では、この部分の園路の幅を広げ、木もなくして見通しを確保することにしました。



②西側道路……ひろばの西側の道路は幅員が狭い割に対面交通となっており車が多いので、車がすれ違えるようにしてほしいという意見がありました。会では、道路を必要以上に広げることとはせず、中心から2mの后退を行い、その代わり、池二小側の出入口の部分



の車止めを下げ、車の退避スペースとすることにしました。この部分では園路から道路に子供が飛び出すことも考えられるので、入口の幅を広げて道路への見通しをよくすることにしました。

区長提案

会では提案をとりまとめ、区長に直接手渡し内容を説明しました。区長からは、「豊島区ではじめての本格的な防災公園となるので、提案の主旨を活かしていきたい」という返事をいただきました。

池袋本町防災まちづくりの会

池袋本町防災まちづくりの会では、3月に次の2つの要望を行いました。

リサイクルルームを防災センターに

池袋本町二丁目の北部リサイクルルームは区の施設統合に伴い、3月で役割を終えました。そこで防災まちづくりの会では、その施設を防災センターとして利用できるように、防災ひろばの提案と一緒に豊島区長に要望しました。

JR職員住宅跡地では、南側の2000㎡の敷地が防災センター用地となっています。しかし、それが本格的に整備されるまでの間、リサイクルルームを防災センターとして活用したいというのが要望の主旨です。

区ではこの要望を受けて、リサイクルルーム会議室(1階・2階)の管理運営方法と2000㎡の使い方について、防災まちづくりの会と検討を進める予定です。

障害となる電柱や標識の移設を

池袋本町防災まちづくりの会道路部会では、昨年10月に行った防災上重要な道路の点検会の結果を受けて、東京電力、NTT、豊島区に対して要望書を提出しました。

今回対象となった道路は鎌倉街道など池袋本町二・三丁目の道路。電柱や標識が交差点の曲がり角にあたり、必要以上に道路に飛び出している所について、その移設や撤去をお願いしました。



懇談会で出された主な意見は次のとおりです

- 2月2日(土)14:00~16:00 住民11名参加
- 防災ひろばを、きちんとルールを守った上で犬の散歩にも利用できるようにしてほしい。
- あまり手を加えない広場にしてほしい。
- 樹木を植えても人の目が行き届くようにしてほしい。
- はらっぱの埃対策をお願いしたい。
- お年寄りが多いので日向ぼっこできるベンチがほしい。

- 2月6日(水)19:00~21:00 住民4名参加
- ひろばの西側の道路は幅員が狭い割に対面交通となっており車が多いので、車がすれ違えるようにしてほしい。
- 池二小側の園路は多くの人が通り抜けに利用するのにに対して園路が狭く暗い印象だ。
- 樹木の枯葉が大変なので管理をお願いしたい。

ひろばと犬 愛犬家の会結成中

昨年行ったアンケート調査で、多くの意見が寄せられたのが、ひろばでの犬の問題でした。「犬を放し飼いにされては子供を安心して遊ばせられない」、「糞の始末が悪くなるので犬を広場に入れなくてほしい」などの意見がありました。

2月の懇談会には愛犬家の方が何人か出席され、意見交換が行われました。防災ひろばの会では、むやみに禁止したくはありませんが、反対の声も多いので、これからどうなるかは利用者のマナーにかかっていると説明しました。

懇談会后、愛犬家の皆さんは、マナーを守るための愛犬家の会を作ろうとしてしています。右の文章が愛犬家の方から寄せられました。

犬の問題について、この誌面でも考えたいと思います。みなさんのご意見をお寄せください。

子供達もワンちゃんも楽しく

はじめまして。私は毎日、防災ひろばを犬と一緒に楽しく利用しています。広場が開放になった頃は、あまりワンちゃんと散歩する姿を見ることは少なく、思わず「ワンちゃんも一緒に入れますよ」と声をかけていました。

近頃は、朝夕には大勢の飼い主さんとワンちゃんが交流する光景が日常的になりました。でもこの広場をずーっとワンちゃんが利用できるのも、飼い主さんがウンチの後始末を忘れずすることが大切です。そして他のワンちゃんの落し物があったら一緒に始末するくらいの気持ちで利用すれば、子供達も楽しく遊べます。

近隣の区ではワンちゃんが入れない公園が増えていますが、いつまでも楽しく一緒に散歩が出来るように、広場にもっと♥をもちませんか？

田んぼの作り方 教えてください 地域と学校をつなぐ防災ひろば

池袋第二小学校では、防災ひろばの一部を貸していただき水田や畑として利用しています。水田は通りかかる人から「なつかしい」「田舎を思い出す」など、大変好意をもって見守っていただき、おかげさまでバケツ一杯ほどのキミを収穫することができました。

この4月からは、水田としてさらに本格的なものを作りたと思っていただけ、幸い埼玉県大里郡江南町から無償で水田用の土10㎡をいただきました。(区民部・街づくり公社・まちづくり推進課のお世話によるものです)

本格的な水田を作りたいのですが、残念ながら学校には経験者がおられません。水田を作り、稲を育てるに当たって皆様のお力を是非お貸し願

えればと思っています。もちろん、経験がなくてもかまいません。子ども達と一緒に作業してみたいという方も結構です。4月になりましたら早速作業を始めようとして計画中です。地域の皆様と学校の子ども達をつなぐ《ふれあいの場所・作業の場所・収穫を祝う場所》に願っています。

さらには、池を中心として植物を植えて鳥や昆虫を呼び(ビオトープ)、昔の池袋を再現し、子ども達の環境学習や地域の皆様の憩いの場所にしたいと思っています。ぜひ、地域の皆様のご協力をお願いいたします。作業日程は、学校や防災ひろばの掲示板を使ってお知らせいたします。

(池袋第二小学校長 永瀬隆行)